

福島原子力発電所の事故について

正確な理解が必要

まず大前提として

- 原子炉そのものは停止している。
つまり核反応は起こっていない状態である。
- 炉心の燃料が一部溶けているのでホウ酸水とか、海水を入れて温度を下げている。
- 水素爆発の危険性はまだ残っている。

今度の爆発は

- 水素爆発である

燃料が冷却されず、熱が高くなり、
燃料を入れている金属管の酸化
反応により水素が発生して建物に
流れて爆発した

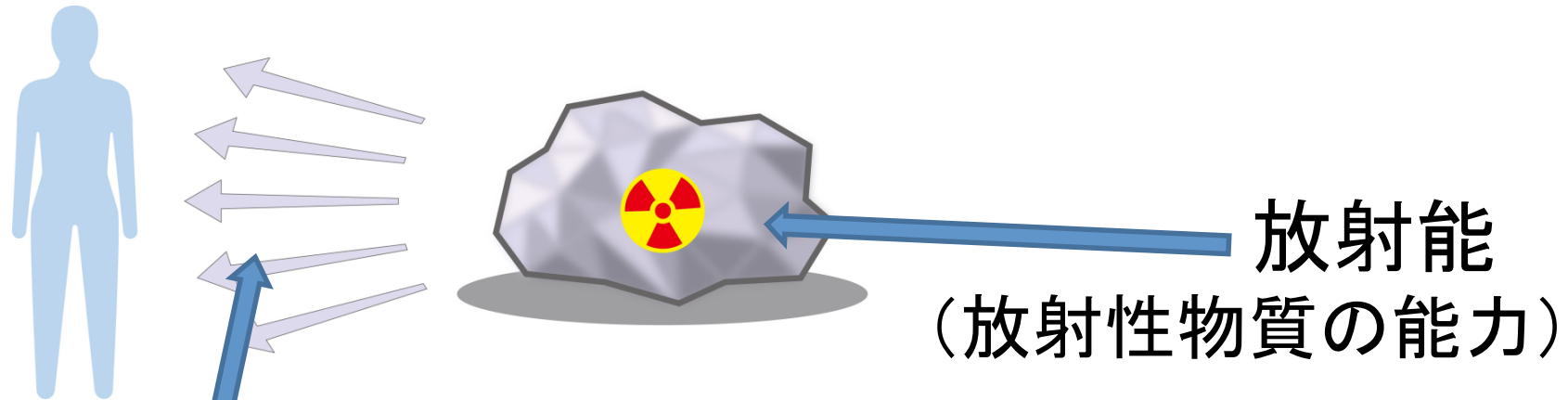
だから、核爆発ではない！！

ここを間違えないように！

水素爆発の結果

- 格納容器の圧力を逃すための操作（ベント）の結果、水素爆発と共に放射能が拡散した
- この放射能拡散は一時的なものだが、この操作毎に起こり得る
- だが、放射能による被ばくは問題ない

放射能って何？



放射線を発する

放射線による影響を表す単位をシーベルト(Sv)という

放射線について

- 放射線は自然放射線と人工放射線があるが



人間への影響の違いはない



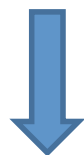
- 生活上の経験として胃の検査、歯の治療時のレントゲンが参考になる

被ばくって何？

- 放射能を持った物質の微小な小片が体に付着した時、受ける放射線の量(シーベルト)
- だから、水で洗い流せば良い。(除染という)私も何度も経験しました。
- 対応は、花粉症の花粉対策に似ていると言って良い

さらに被ばくについて

- 放射性物質が被覆にほんの少しについても「被ばく」という事になる
- でも、この放射性物質を口から吸いこむと体の中に止まってしまうので良くない
(これを「内部被ばく」という)



- だから今回の状況では花粉対策用マスクで十分対処できる

では、被ばくはどの程度なの？

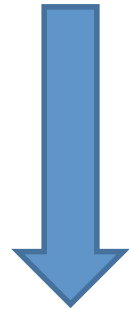
- 今回の放射線量は、日本の基準では1年分を1時間で被ばくしたくらいの量。
- でもこれが何時間も、何日も継続していないので問題ではない。



- 今回、胃のレントゲンの2倍の量だが、継続して何時間もレントゲンは受けない。
参考までに、歯のレントゲンはこの数10倍。

被ばく量の参考として

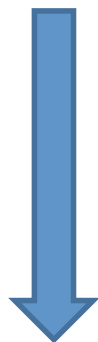
- ・ 成田からニューヨークへ飛行機で往復した場合どのくらい宇宙線で被ばくするか



- ・ 往復で200マイクロシーベルトの被ばく

最悪の状態はどの程度？

- 今回の水素の爆発と同じような事が起こるかも知れない



- 放射能の拡散による汚染は現在の20kmが3号機でも指示されるかも知れない

結論

- 発電所の近くまで行かなければ、問題ない
- 発電所近くでも、マスクをして、長袖のシャツを着て、帰宅したら手、シャツを洗えばよい。
- 東京では影響はないと考える
- 政府の発表は信頼できる